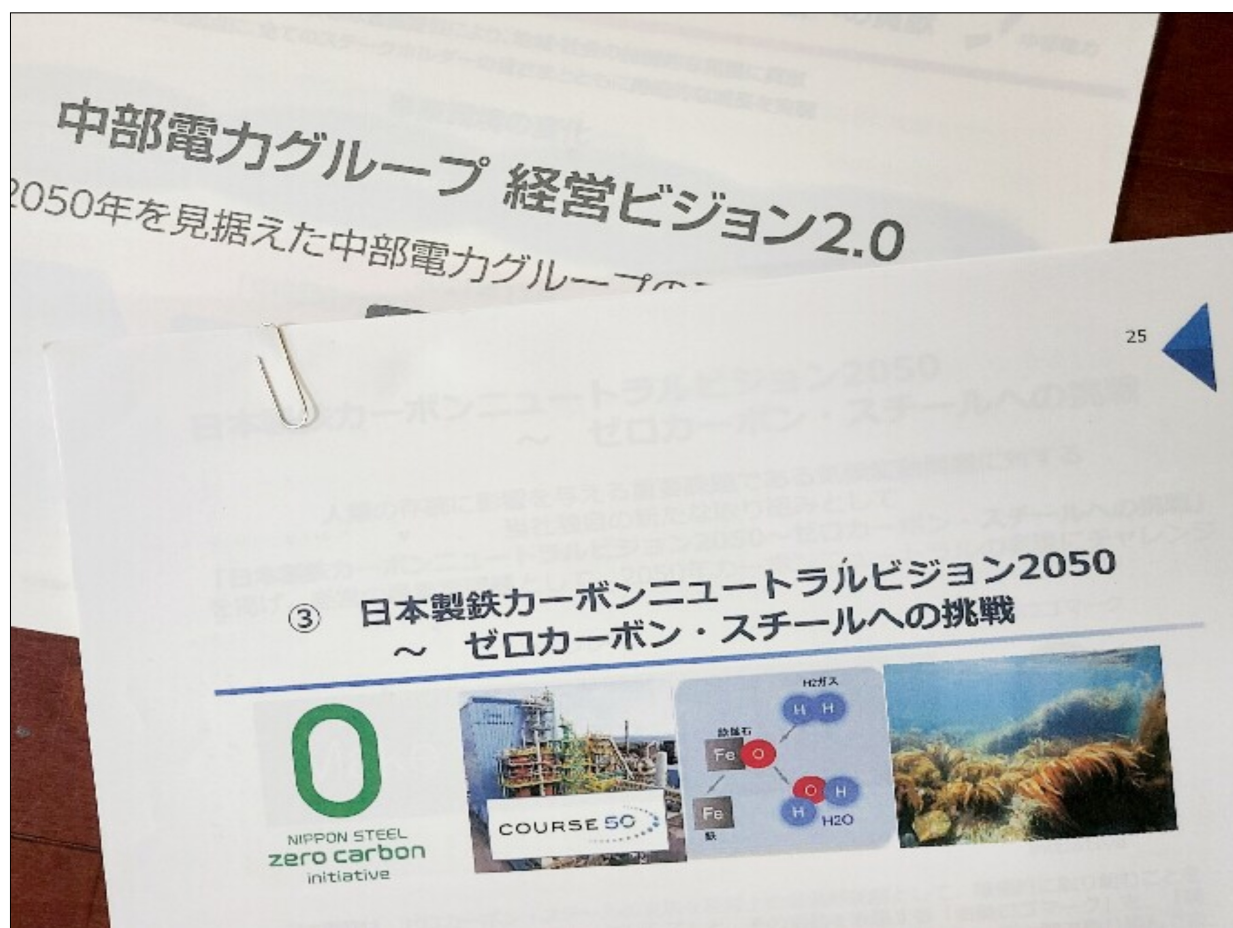


資料1



1935年に、豊田佐吉の遺訓を5つにまとめたものが豊田綱領です。

現在に至るまでトヨタグループの精神的支柱であり、トヨタ自動車を含むグループ各社の企業理念、社員の行動規範の基となっています。



豊田綱領 豊田佐吉陶像

2. 豊田綱領

一、上下一致 至誠業務に服し 産業報国の実を挙げべし

(現代語訳)

社長から社員一人ひとりまで心をひとつにして、力をあわせて誠実に業務にあたり、世のため人のために貢献しなければなりません。

一、研究と創造に心を致し常に時流に先んずべし

(現代語訳)

卓越した考えや先進技術を世界に広く学び、自らの知恵を絞って自らの力を高め、新たな価値を創造し、いつも世界をリードし続けなければならない。

一、華美を戒め質実剛健たるべし

(現代語訳)

体裁や見栄えを繕わず、愚直に堅実に真正面から本質に取り組みなければなりません。

一、温情友愛の精神を養ひし家庭的美風を養育すべし

(現代語訳)

相互信頼と対等なパートナーシップを大切に、人材育成と強いチームワークづくりを進めなければならない。

一、神仏を尊崇し報恩感謝の生活を為すべし

(現代語訳)

世界の多様性を尊重し、トヨタグループの営みは、多くの人々や社会によって支えられていることに感謝の気持ちを持ち続けなければならない。

No. 1318 評議会ニュース

トヨタ労働組合連合会 TEL:0565-241111 FAX:0565-241177 発行人/西野委員 編集人/河合副社長 印刷所/長年印刷株式会社 2019.7.29(月)発行

緊急特集号

労使協#3での社長コメント

『組合、会社とも、生きるか死ぬかかの状況がわかっていないのではない』

執行部の受け止め

トヨタがおかれている状況の認識の甘さを深く反省

トップの危機意識に一步でも近づくため、また、労使一丸となってすぐに動き出すためにマネジメントの皆さまと話し合いました

皆さんへ
ひとり一人が「何ができるか」「何をしなければならないか」考えすぐに行動に移しましょう。
分からないことがあれば、上司や周りの仲間と話し合ってみましょう。

No. 1331 57期後期 7月度 労使拡大懇談会 報告 特集号

トヨタ労働組合連合会 TEL:0565-241111 FAX:0565-241177 発行人/西野委員 編集人/河合副社長 印刷所/長年印刷株式会社 2019.7.29(月)発行



河合副社長



西野委員長

7/29(月)開催

<河合副社長の想い>

社長以下、全員が一枚岩となって、一つの家族のようになり、社員手帳にある「トヨタらしさ」を取り戻すべく、一人ひとりが考え、行動に移そう

<西野委員長の想い>

トヨタが選ばれ続けるために、豊田綱領の精神を全員で再確認し、自ら主体性を持ちやっつけていこう!

「世のため、人のため」の価値観を皆で共有できているか? 「感謝の気持ち」を忘れていないか?

詳細は次ページへ

今回の議論内容を確認いただき、「率直に感じたこと」や「自分達に足りない事」、「これらを踏まえ、どうしていくべきか」など各職場で真剣に話し合い行動を変えていきましょう!!

民、立民、国民が擁立した主な組織内候補の得票数

	2022年(今回)	19年	16年
全国郵便局長会	当 長谷川 英晴 41万4370	当 60万189	当 52万1060
全国建設業協会	当 足立 敏之 24万7754	当 23万2548	当 29万3799
日本医師連盟	当 自見 英子 21万3369	当 15万2807	当 21万562
全国農政連	当 藤木 真也 18万7740	当 21万7619	当 23万6119
日本看護連盟	当 友納 理緒 17万4335	当 18万9893	当 17万7810
全国土地改良政治連盟	当 進藤 金日子 15万707	当 13万7502	当 18万2467
日本薬剤師連盟	当 神谷 政幸 12万7188	当 15万9596	当 14万2132
自治労	当 鬼木 誠 17万1619	当 15万7849	当 18万4187
日教組	当 古賀 千景 14万4344	当 14万8309	当 17万6683
JP労組	当 柴 慎一 12万7382	当 14万4751	当 19万1823
基幹労連	当 村田 享子 12万5340	—	落 10万8522
情報労連	当 石橋 通宏 11万1703	当 14万3472	当 17万1486
電力総連	当 竹詰 仁 23万8956	当 25万6928	当 27万285
自動車総連	当 浜口 誠 23万4744	当 25万8507	当 26万6623
UAゼンセン	当 川合 孝典 21万1783	当 26万324	当 19万6023
電機連合	落 矢田 稚子 15万9929	落 19万2586	当 21万5823

78%
23%
24%
26%
20%
21%
78%
17%
57%

2022
参院選
結果

敬称略。立民、国民が今回擁立した組織内候補は16年は民進党から出馬した

参院選(比例)連合労組候補者の得票結果(2007年~2019年)

産別労組	年度 参院選	民主 2007年 第21回		民主 2010年 第22回		民主 2013年 第23回		民進 2016年 第24回		立民/国民 2019年 第25回	
		候補者	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	候補者	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	候補者	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	候補者	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	候補者	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100
自治労	候補者	(当)相原 久美子		(当)江崎 孝		(当)相原 久美子		(当)江崎 孝		(当/立民)岸 真紀子	
	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	507792 915000 55.5%	133248 846000 15.8%	235636 831000 28.4%	184187 802000 23.0%	157848 785000 20.1%					
日教組	候補者	(当)神本 美恵子		(当)那谷屋 正義		(当)神本 美恵子		(当)那谷屋 正義		(当/立民)水岡 俊一	
	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	224994 296000 76.0%	139006 280000 49.6%	176248 260000 67.8%	176683 241000 73.3%	148309 230000 64.5%					
情報労連	候補者	(当)吉川 沙織		(当)石橋 通宏		(当)吉川 沙織		(当)石橋 通宏		(当/立民)吉川 沙織	
	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	306577 228000 134.5%	150113 222000 67.6%	167437 220000 76.1%	171486 209000 82.1%	143472 200000 71.7%					
電力総連	候補者	(当)藤原 正司		(当)小林 正夫 海員組合推薦		(当)浜野 善史		(当)小林 正夫		(当/国民)浜野 善史	
	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	194080 212000 91.5%	207227 217000 95.5%	235917 219000 107.7%	270285 215000 125.7%	256928 212000 121.2%					
自動車総連	候補者	(当)池口 修次		(当)直嶋 正行		(当)磯崎 哲史		(当)浜口 誠		(当/国民)磯崎 哲史	
	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	255451 720000 35.5%	207821 761000 27.3%	271553 764000 35.5%	266623 772000 34.5%	258507 781000 33.1%					
基幹労連	候補者	(当)轟木 利治		(当)柳田 稔 神戸製鋼、連合広島 (広島選挙区)		(落)轟木 利治		(落)轟木 利治 ※広島選挙区で柳 田稔が当選			
	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	166969 243000 68.7%	254000 0.0%	103996 250000 41.6%	108522 259000 41.9%	265000 0.0%					
UI(A) ゼンセン	候補者	(当)河合 孝典		(当)柳沢 光美 交通労連推薦		(落)河合 孝典		(当)河合 孝典		(当/国民)田村 麻美	
	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	171084 981000 17.4%	159325 1058000 15.1%	138830 1408000 9.9%	196023 1607000 12.2%	260324 1767000 14.7%					
JAM	候補者	※基幹労連の轟木 氏を推薦		(当)津田 弥太郎		※基幹労連の轟木 氏を推薦		(落)藤川 慎一		(落/国民/基幹労連推 薦)田中 久弥	
	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	387000 0.0%	143048 387000 37.0%	360000 0.0%	112995 353000 32.0%	143467 370000 38.8%					
郵政 (JP労組)	候補者			(当)難波 慶二		(落)定光 克之		(当)難波 慶二		(当/立民)小澤 雅仁	
	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	81000 0.0%	144782 225000 64.3%	120782 234000 51.6%	191823 241000 79.6%	144751 244000 59.3%					
電機連合	候補者	※若林秀樹(参)休 調不良で出馬断念		(当)加藤 敏幸 全保労連推薦		(当)石上 俊雄		(当)矢田 稚子		(落/国民)石上 俊雄	
	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	644000 0.0%	120987 659000 18.4%	152121 635000 24.0%	215823 610000 35.4%	192586 570000 33.8%					
JR	候補者			(当)田城 郁		(落)田城 郁					
	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	74000 69000 143000 0.0%	78000 69000 147000 77.2%	81000 71000 152000 0.0%	81000 7300 88300 128.6%	83000 28000 111000 0.0%					
私鉄総連	候補者			(落)板倉 一幸		(落)森屋 隆		(当/立民)森屋 隆			
	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	116000 0.0%	70521 114000 61.9%	102208 114000 0.0%	104339 116000 88.1%	104339 116000 89.9%					
連合	得票数(A) 組合員数(B) (A)/(B)*100	1826947 6622000 27.6%	1589546 6732000 23.6%	1602520 6714000 23.9%	2110229 6753000 31.2%	1810531 6861000 26.4%					

※各産別労働組合の組合員数は、厚労省の「労働組合基礎調査結果の概況」より。

※2019年度の組織人員
数は2018年度の数値

連合会長の 将来の国家像が違うから共闘はできない～ を考える

連合会長の談話要約

労働組合・連合の神津会長の野党共闘についての発言が、NHKニュースや新聞のコラムなどで取り上げられています。その内容について一緒に考えてみましょう。

NHKニュースは、野党共闘について、神津氏が「共闘はできない」と発言したことを報じました。神津氏はその後、「発言を訂正・補正する形でメディアに次のように語ったことがNHK新聞のコラムに掲載された」4点に要約。

①「一言でいえば私たちの目指すものは北欧式の福祉国家」
 ②「ヨーロッパの社会民主主義と共産党が目指す共産主義の社会階級と位置づけられている。社会主義とは全く異なる」
 ③「共産党にその綱領と党名を改めて、新国家を目標とする（我々十二項目の政策で一致して全ての一人区で共闘が前進）」

4年前から始まった市民と野党の共闘は、今年7月の参院選では立憲民主・国民民主・日本共産党・社会民主・社会保険党を立て直す国民意識の野党3党が共通政策を掲げた。野党3党の参院1人区がすべて統一候補を擁立し10人が出陣。市民野党の議席を後進させ憲法改定の野望を阻止した。

その前進の土台には国政の重要な次の13項目の政策協定があります。

- ①憲法9条改悪のストップ
- ②安保法制など立憲主義に反す法律の廃止
- ③報道の自由確立
- ④防衛・軍事予算の削減で暮らし福祉重視の憲法
- ⑤沖縄辺野古基地建設反対・日米地位協定の見直し
- ⑥北朝鮮との国交正常化、北朝鮮との対話の再開
- ⑦原発ゼロの政策を自派で7行政府の隠い、虚偽データで作られた法律の廃止
- ⑧消費税引き上げの中止
- ⑨教育・保育・雇用などへの予算拡充
- ⑩時給1500円確立など格差と賃金の是正
- ⑪あらゆる差別禁止、男女同権の完全実施
- ⑫内閣人事局の在り方再検討
- ⑬報道の自由確立

深刻なメンタル疾患 全世代で第1位

日本製鉄の社内報の最新版に社員の健康実態調査が掲載されています。その中に2018年の全従業員約10万人の健康実態調査の結果が報告されています。30歳未満から10年単位で60歳以上までの5段階の各世代で休業日数の第1位はすべて「メンタル疾患」であると報告されています。第2位は30代以下では神経・感覚系疾患で、40代以降の第2位は循環器系疾患となっています。鉄鋼業界の国際的な競争激化のもとで要員合理化も徹底して遂行され、一人作業が常態化され労働者にかかっていない健康破綻が進んでいることが企業によって証明されています。

将来像の違いは保留して 当面する国民の願いで一致して共闘を

日本共産党は、3年前の党大会で、野党共闘について次のように報告しています。参考に、大いに議論を広げようではありませんか。

2017年に開かれた党大会で、日本共産党の志位委員長は、「日本共産党は、当面する国民の願いをめぐって」と題して3つの点で次のように述べました。

●第1は、日本共産党は、社会の進歩を1歩1歩、段階を上がるように、段階的に発展するという立場に立っている。日本社会が求めているのは社会主義、共産主義ではなく、資本主義の枠内での民主的改善である。私たちが将来の理想として目指す未来社会（社会主義・共産主義）の社会は解放した社会ではなく、異なり「人間の解放、人間の自由」という社会主義本来の立場を最も大切に、資本主義の価値ある成果の労働組合などが望んでいる「安倍政権を打倒し、立憲主義、民主主義、平和主義を貫く新しい政治」という国民的大義につながってほしい。

●第2は、野党共闘についても、その進歩（多様性）を尊重し、互いにリスベクト（尊敬）を持ち多くの国民と労働組合などが望んでいる「安倍政権を打倒し、立憲主義、民主主義、平和主義を貫く新しい政治」という国民の大義につながってほしい。

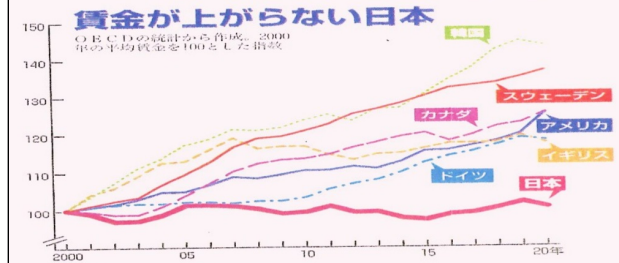
ルール

（部内資料）
NO. 10
2019年11月
日本共産党労働者後援会ニュース 052-261-3461

将来の年金が心配

大企業職場の40代の労働者からの声をご紹介します。いま、職場での話題は年金問題。「今はいかに退職後の年金はどうなるのか」から「ある程度給料はあるがローンとか教育費とかで今から2000万円も貯金は無理」などメンタルの話題で盛り上がっています。

いまこそ「ルールある経済社会」へ転換を



三つの弊害に切り込んでこそ

上のグラフは、先進主要国の20年間の平均賃金の推移です。他の国々が130%~158%近く伸びているにもかかわらず日本だけが95%と低下しているのです。

また右下のグラフを見るように、実質GDP成長率は10年間で10.3%と最も低く、成長が止まった国といわれています。日本は、

- ①賃金が上がらない国
- ②成長できない国
- ③競争力の弱い国

という実態になっているのです。

①労働法制の規制緩和などルールを弱めたこと、②社会保障費削減、③大企業への富裕層への減税と消費税増税の3つの弊害に切り込むことが求められています。

「新しい資本主義（岸田首相）の実態は

岸田首相はこうした事態を受けて、「新しい資本主義」を政権の柱に掲げて取り組むことを強調。

この数年にわたって自民党政治が進めてきた政策は「新自由主義」です。この新自由主義の政策は「国民には自己責任の弱肉強食」、「社会には規制緩和でルールの後退」、「官から民で社会保障な

問題があらわになっていす。また、大株主など富裕層への富の集中と勤労者の賃金の低下など「格差と貧困」も浮かび上がってきています。

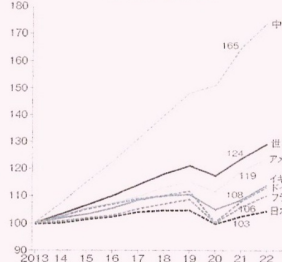
「新しい資本主義」を標榜していますが、柱となっていない3つの問題にはスエデンをはじめ先進国はすでに避けています。

新自由主義転換へ5つの提案

日本共産党は新自由主義を転換するために次の5つの提案を行っています。

- 第1は、賃金が上がる国へ、人間らしい雇用のルール確立と最低賃金の引上げなど、
- 第2に社会保障の削減から拡充への転換、第3に富裕層と大企業への税の応分の負担と消費者平等の視点を貫くことです。新自由主義の転換へ具体的な対策を急ぐ事が求められているのではないのでしょうか。

成長が止まった日本



重要な労働組合の果たす役割

儲けは賃金に戻らず株主へ

(1999年=100)

日本経団連が発表した2022年版経営労働政策特別委員会報告書は、岸田首相と同様に「成長分配の好循環」実現の力は「成長あつての分配」だとし、そのために「労働者が経営のパートナー」（労資一体）としての役割を果たすことが重要と結論づけています。

こうした世界の考えに対して、労働組合が本来の役割を發揮し、非正規労働者を含めて労働者の生活を立て直して経済も企業も成長に向かう立場を明確にした論戦と運動に取り組むことが求められています。

ルール

（部内資料）
NO. 18
2022年2月
日本共産党労働者後援会ニュース 052-261-3461

労働者